

最先端科学・分析システム&ソリューション展



JASIS
Japan Analytical Scientific Instruments Show
2026

未来発見。
『測る』が支える
未来の社会

9月02日(水) → 04日(金) 10:00-17:00
幕張メッセ国際展示場

JASIS WebExpo® 7月1日(水)10時~10月30日(金)17時

日本計量新報

計測と科学
毎月第2・第4日曜日発行
株式会社
計量計測データバンク
東京都江東区亀戸7丁目62-16
〒136-0071 TEL 03-5628-7070
FAX 03-5628-7071
https://www.keiryoku-keisoku.co.jp/
購読料年間 28,600円(消費税込み)

アジア最大級の分析・科学総合展「JASIS 2026」ラボオートメーション・フィジカルAI—研究開発を変える最新ソリューションが幕張に集結

JASIS 2026
9月2日(水)~4日(金)
千葉県・幕張メッセで開催

一般社団法人日本分析機器工業会(JAIM A、所在地:〒101-0054東京都千代田区神田錦町2-5-16、会長:足立正之/株式会社堀場製作所代表取締役社長)と、一般社団法人日本科学機器協会(JSIA、所在地:〒103-0001東京都中央区日本橋小伝馬町14-9、会長:入江一光/入江株式会社代表取締役社長)は、共同で主催するアジア最大級の最先端科学・分析システム&ソリューション展「JASIS 2026」を2026年9月2日(水)~4日(金)に、千葉県・幕張メッセ国際展示場で開催する。

Web上で開催されるJASIS WebExpo 2026は、2026年7月1日(水)10時~10月30日(金)17時まで開催。

同展のコンセプトは、昨年に引き続き「五感で感じる学び場」。今年はとりわけ、研究開発の現場でAIの活用が加速するなか、「AI×分析・計測」の先進的な取り組みが会場の見どころとなる。測定・解析・制御を自動でつなぐ「ラボオートメーション」、そして自動的に判断・作動する「フィジカルAI—実験室の自動化から人の技の再現まで、AIと分析・計測技術の融合が拓く研究開発の最前線を、実機のデモンストレーションや開発者との対話を通じて体感できる。

「ラボオートメーションからフィジカルAIまで JASIS 2026の見どころ」

【最先端技術と出会う注目企画】

- Innovation Frontier Zone
好評の「LabDXゾーン」を配置し、ラボの自動化・効率化を支える技術・ソリューションに関する出展ブースを集約します。今年は11社が出展し、AI技術を活用したデータ解析、ロボットによる自動実験、国際標準対応など、ラボ自動化への取り組みに関する展示が行われる。また、エリア内にはステージを設けて、LabDXゾーンの出展社によるプレゼンテーションも実施。
- 〈展示出展社〉アジレント・テクノロジー、AUT C/東京電機産業、NTサイエンス、デンソーウェーブ、西川計測、パンチ工業、フォーテックス、富士通、フロイント産業、ヤマト科学、横河電機

「の製品・技術を紹介し」の製品・技術を紹介し、9月3日(木)12:15~12:45展示場7ホールメインステージ「滴定試験の常識を変える個人差ゼロの、自動判定」へ滴定終点自動判定装置HIPPOSCANのご紹介。

岡田靖氏(アイ・モーシオンテクノロジー代表取締役)

・9月3日(木)13:45~14:15「小型協働ロボットを活用したラボオートメーションと自動化事例」

榎本聡文氏(デンソーウェーブFAプロダクト事業部FAプロダクト事業戦略企画部商品戦略室長)

■ちよらボ(共創コナー内)
共創コナー内に設置されたステージ「ちよらボ」では、リアルな場で(次ページへつづく)

今週の主な記事

JASIS 2026 9月2日(水)~4日(金) 千葉県・幕張メッセで開催

① 幕張メッセで開催
② 幕張メッセで開催
③ 幕張メッセで開催
④ 幕張メッセで開催
⑤ 幕張メッセで開催
⑥ 幕張メッセで開催
⑦ 幕張メッセで開催
⑧ 幕張メッセで開催
⑨ 幕張メッセで開催
⑩ 幕張メッセで開催
⑪ 幕張メッセで開催
⑫ 幕張メッセで開催

第28回国際度量衡総会(CGPM)2026年10月開催

官報制度と計量の世界(28)その2

計量法の解説(6)

特集とつぎの計量No.309

Tを発売

東日製作所デジタルトルクドライバ「STC3-B」を発売

14回定時総会開催/チノ、大和製衡人事

大阪府計量協会第30回通常総会、神戸市計量士会第14回定時総会開催

兵庫県計量協会第105回定時総会開催

千葉県・幕張メッセで開催

化への取り組みに関する展示が行われる。また、エリア内にはステージを設けて、LabDXゾーンの出展社によるプレゼンテーションも実施。

〈展示出展社〉アジレント・テクノロジー、AUT C/東京電機産業、NTサイエンス、デンソーウェーブ、西川計測、パンチ工業、フォーテックス、富士通、フロイント産業、ヤマト科学、横河電機

「の製品・技術を紹介し」の製品・技術を紹介し、9月3日(木)12:15~12:45展示場7ホールメインステージ「滴定試験の常識を変える個人差ゼロの、自動判定」へ滴定終点自動判定装置HIPPOSCANのご紹介。

岡田靖氏(アイ・モーシオンテクノロジー代表取締役)

・9月3日(木)13:45~14:15「小型協働ロボットを活用したラボオートメーションと自動化事例」

榎本聡文氏(デンソーウェーブFAプロダクト事業部FAプロダクト事業戦略企画部商品戦略室長)

■ちよらボ(共創コナー内)
共創コナー内に設置されたステージ「ちよらボ」では、リアルな場で(次ページへつづく)

定量計量専用機
Pack NAVI
速くハカル、
楽にツメル



Yamato
大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
http://www.yamato-scale.co.jp/

3540号を8月9日
付で発行します。

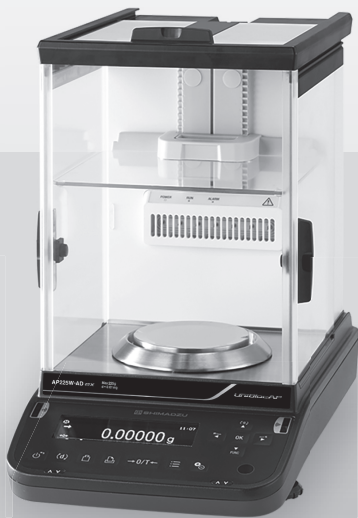
SHIMADZU
Excellence in Science

NEW

分析天びん

Advanced Performance UniBloc Balances

AP W-AD ex Series & AP ex Series



AP225W-AD ex

オートドア・タッチレスセンサ・イオナイズ搭載



AP135W ex

正確な計量は 新たなレベルへ!

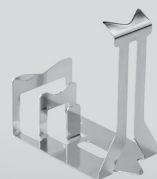
最小計量値の大幅向上で正確な計量をサポート

01 クラストップレベルの最小計量値を実現

薬局方が求める最小計量値を13 mg*(従来比35%小量化)、クラストップレベルの性能を発揮します。

02 快適な計量をサポート

各種ガラス容器の保持に便利なスマートホルダを標準付属。



*日本薬局方JP 9.62、米国薬局方USP 41、欧州薬局方Ph. Eur. 2.1.7 準拠。
当社工場にてひょう量の約5%の銅粉を用いた試験で満たされる値です。最小計量値は据付環境に影響されるため、実際の使用環境にて測定する必要があります。

株式会社 島津製作所 分析計測事業部

APシリーズの特長やわかりやすい使い方動画を紹介
https://www.an.shimadzu.co.jp/balance/products/p01/ap_d.htm

